

今年の雪 2016~17 速報会

小雪年、雪によるトラブるは
新潟県を避けるように...

■今冬の雪は、またしても小雪だった。確かに新潟県の平地ではそうであった。そういう目で見ると、雪は遠く離れた土地に良く降った感じがある。■年の暮れ、関西から山陰地方にかけて大雪で交通渋滞も激しかったようだ。さらにこの後、北海道や東北では良く雪が降ったという。そして3月、栃木県での雪崩災害など、聞きなれないところでの雪災害が聞こえてきた。これは要するに一つの大きな傾向ではないだろうか。

新潟県を外れたところで大雪となり、そこで経験の少ない雪災害が目立つということは。■従来、この「雪速報会」では新潟県外の土地での雪の話題はやや避けてきた。しかし、十数回もこの会を重ねた末に、こういう時期に来たということは節目なのか、と考えて今回の企画に至ったのである。

—NPO法人水環境技術研究会 早川典生

日時

平成29年

5月31日(水)

13:00~16:40
(開場12:30)

定員
100名

会場

まちなかキャンパス長岡 301会議室

〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-6
フェニックス大手イースト TEL.0258-39-3300



- 13:00 開会の挨拶
- 13:05~13:30 「北陸地方を中心とした2016/17冬季の天候と降雪の特徴」
気象庁 新潟地方気象台 予報官 中村 誠
- 13:30~13:55 「今冬における山陰地方の雪害(1)」
新潟大学 災害・復興科学研究所 教授 河島 克久
- 13:55~14:20 「今冬における山陰地方の雪害(2)」
国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 研究員 伊藤 陽一
- 14:20~14:45 「昨年の集中降雪を教訓とした取組について」
国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 副所長 稲本 義昌
- 15:05~15:30 「平成29年2月に実施した官民連携による雪崩対応訓練について」
新潟県 南魚沼地域振興局 地域整備部維持管理課 主任 吉田 あみ
- 15:30~15:55 「今冬の雪崩死亡事故からみる安全管理上の問題点」
NPO法人 日本雪崩ネットワーク 理事 出川 あずさ
- 15:55~16:35 総合討論
- 16:35~16:40 閉会の挨拶
- ※17:15~交流会(会費5,000円)を予定しております。(会場：割烹「魚藤」長岡市表町1丁目10-6 TEL 0258-32-1465)

参加費

500円(資料代として)
※土木学会CPD認定
JSCE17-0347

申し込み

専用サイトからお申込み下さい

<http://yukisoku.jimdo.com/>



主催団体

特定非営利活動法人 水環境技術研究会・公益社団法人 日本雪氷学会 北信越支部
国立研究開発法人 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター・一般社団法人 北陸地域づくり協会